

県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会記録

1 会議の日時	令和 6年 7月 3日 開 会 午前 9 時 55 分 閉 会 午前 10 時 56 分	
2 会議の場所	第6委員会室	
3 出席者	委 員	委員長 猫 田 孝                      副委員長 小 原 尚 委員 森 正 弘                      野 村 美 穂                      澄 川 寿 之 森 治 久                      藤 本 恵 司                      平 野 恭 子 森 益 基                      黒 田 芳 弘
	執 行 部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	主査 横田 直道                      主事 水谷 玲葉	

5 会議に付した案件		
件	名	審 査 の 結 果
<p>1 県土強靱化・インフラ整備対策に関する調査について</p> <p>(1) 東海環状自動車道西回り区間の整備について</p> <p>参考人</p> <p>国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所</p> <p>所長 松實 崇博 氏</p> <p>中日本高速道路(株) 名古屋支社 岐阜工事事務所</p> <p>所長 藤原 由康 氏</p> <p>(2) 第3期岐阜県強靱化計画見直しの方向性について</p> <p>2 その他</p> <p>(1) 築65年を迎える県有建物について</p>		

## 6 議事録（要点筆記）

### ○猫田孝委員長

ただいまから、県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、東海環状自動車道西回り区間の整備についてを議題とし、協議いただくため開催したものである。

本日は、執行部のほか、議題について報告いただくため、国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所、所長の松實崇博様と中日本高速道路株式会社名古屋支社岐阜工事事務所、所長の藤原由康様に出席いただいている。

松實様、藤原様におかれては、大変ご多用のところ、お越しいただき、誠に感謝する。

是非、活発な意見交換ができればと思うので、よろしく願いしたい。

なお、質疑については、報告終了後をお願いする。

それでは、最初に松實様に報告をお願いする。

（報告 参考人 国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所 所長 松實崇博氏）

### ○猫田孝委員長

続いて、藤原様に報告をお願いする。

（報告 参考人 中日本高速道路株式会社名古屋支社岐阜工事事務所 所長 藤原由康氏）

### ○猫田孝委員長

ただいまの報告に対し質問はあるか。

### ○森治久委員

都市計画法や農地法等の規制がかかる中で、東海環状自動車道の沿線以外の市町において、ストック効果をどのように生かしていくか。

### ○松實参考人

沿線市町のみならず、県全体でストック効果を生かしていただくため、国としては、全国の好事例を情報提供していく。

### ○野村美穂委員

工事の遅れの原因となっている七五三高架橋（（仮称）糸貫IC～大野神戸IC間）における玉石や県境トンネル（養老IC～県境間）における湧水への対応状況は。

### ○松實参考人

七五三高架橋の玉石への対応については、仮設の矢板を地中に打ち込む際に、当初予定していた水の圧力で掘る工法を、ドリルで玉石を砕く工法に変更した。

### ○藤原参考人

県境トンネルの湧水への対応については、トンネルの掘削面から水が出ると、土砂も一緒に崩れる可能性があるため、トンネルの横から約50メートルの水抜きボーリングを行い、奥の水を抜いてから掘削を進めている。

### ○野村美穂委員

抜いた水はどのように処理しているのか。

### ○藤原参考人

抜いた水はpHが高いため、適切に処理を行った後、一旦タンクに貯めて、徐々に川へ流している。

### ○黒田芳弘委員

資材価格や人件費が高騰しているが、工事に影響はあるか。

○松實参考人

昨年度、事業費を増額して対応したところである。現在契約している工事についても、必要があれば単価の補正を行い対応していく。

○黒田芳弘委員

建設資材の確保には影響はないか。

○松實参考人

コンクリート等の資材確保が困難という事象は発生していない。

○猫田孝委員長

七五三高架橋の工事が半年程度遅れるという話であったが、1日も早く完成させてほしい。また、県境トンネルの避難坑と本坑で湧水が発生しているということであったが、因果関係はあるのか。

○松實参考人

七五三高架橋については、雨天時でも作業ができるようテントを設置する等、工期を延ばさないよう工夫しながら工事を進めている。

○藤原参考人

県境トンネルについては、水の流れを把握するのは困難であるが、本坑の5分の1の大きさを掘削する避難坑を先行させ、可能な限り水を抜くことで、本坑の掘削時に湧水が発生しないように工事を進めている。

○森正弘委員

養老IC～県境間に関し、令和8年度の開通見込みに変更はないか。

○松實参考人

現時点でいつまでに開通とは断言できないが、安全第一で、様々な知見を集約しながら工事を進めていく。

○猫田孝委員長

質問も尽きたようなので、この議題は終了する。

(参考人 国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所 所長 松實崇博氏 退出)

(参考人 中日本高速道路株式会社名古屋支社岐阜工事事務所 所長 藤原由康氏 退出)

○猫田孝委員長

次に、第3期岐阜県強靱化計画見直しの方向性について、執行部の説明を求める。

(執行部説明)

○猫田孝委員長

ただいまの説明に対し質問はあるか。

○澄川寿之委員

建物耐震化の促進について、部分的な耐震補強に対する支援を検討することのだが、先進的に補助を行っている自治体はあるのか。

○堀建築指導課長

既に補助を実施している自治体はある。そういった事例を参考にしながら検討を進めているところ。

○澄川寿之委員

大きな木造住宅ではなかなか耐震工事の費用を確保できない。耐震対策の第一歩として大事な取組だと思うので、ぜひ進めてほしい。

能登半島地震での災害関連死者数が熊本地震を超えたが、災害関連死に対する県の考えは。

○永井防災課長

今回の能登半島地震では、避難所生活が長期化したことで体調を崩す方もいたことから、こうした点を踏まえ、市町村の避難所運営マニュアルの指針となる県避難所運営ガイドラインを見直していく。

○猫田孝委員長

質問も尽きたようなので、この議題は終了する。

次に、その他として築65年を迎える県有建物について、執行部の報告を受ける。

(執行部報告)

○猫田孝委員長

ただいまの報告に対し質疑はあるか。

○黒田芳弘委員

令和16年度までに築65年を迎える77棟について、今後、各建物の方針を検討していくとのことだが、おおよその再整備予算は把握しているのか。

○小川管財課長

77棟は築65年を迎える建物であり、これら全ての建て替えが決定しているわけではない。今後の建物の在り方については、利用状況や財政状況を総合的に勘案してそれぞれ決めていくため、全て建て替えた場合の試算は行っていない。

○黒田芳弘委員

建て直すものは建て直し、必要のないものは廃止や縮小をすると理解すればよいか。

○小川管財課長

そのとおり。施設の廃止は非常に大きな決断となるため、丁寧に議論しながら検討を進めていく。

○猫田孝委員長

質疑も尽きたようなので、この議題は終了する。

以上で、本日の議題は終了したが、この際、何か意見はあるか。

(「意見なし」)

○猫田孝委員長

意見がないようなので、本日の委員会を閉会する。

県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会 配席図

令和6年7月3日

第6委員会室

